

諸井 泉

Moroi Izumi

1960年、埼玉県生まれ。明治学院大学卒業後、東京都観光バス入社、在職につくば万博が開催、万博中央駅と万博会場間の交通手段であった連節バス「スーパーシャトルバス」の運営管理者としてシャトルバス中央事業所にて運営管理業務に従事。その後、郵船航空サービス旅客部門（現郵船トラベル）に転職。クルーズ部門で企画運営、初代飛鳥ツアーマネージャーとして、世界一周クルーズ等に乗船勤務した。郵船グループ、日本海洋科学では、外国人人材派遣業に従事。その間、バスマガジン誌に数本の連載記事を執筆、日本海事新聞コラム欄「海游人」にも連載で執筆。郵船トラベル定年退職後はフリー交通ライター。日本旅のペンクラブ員、クラブ氷川丸会員（日本郵船氷川丸ボランティアガイド）、日本バス友の会会員。

諸井 泉

Moroi Izumi

連節バス物語

1台で2台分の活躍。その誕生から現在まで

連節バス物語



9784863321779



1920197008407

ISBN 978-4-330-03325-9

C0265 ¥1000E

定価1100円（本体1000円＋税）

交通新聞社

人手不足、街並み創出、環境への配慮…。その救世主になるかもしれない“未来のバス”が連節バスで、全国のバス事業者や地方自治体などで導入、または導入が検討されています。最初に本格実用化されたのは1985（昭和60）年のつくば科学万博でした。つまり、立派な“万博レガシー”なのです。本書は、当時の運行管理者としての経験を持つ著者がその導入の舞台裏を記すとともに、連節バスのあゆみ、特長、有効性、全国での活躍ぶりを解説します。

諸井 泉

交通新聞社新書 187

交通新聞社新書
187



自然を
守る

+

賑わいを
創る

=

1台で
2台分
働く

人と町を 創るのは、 未来のバスだ！



交通新聞社新書 187

諸井 泉

交通新聞社新書
187



CONTENTS

- 第1章 連節バスとは？ そのあゆみ
- 第2章 連節バスの構造・走行・製造
- 第3章 全国で活躍する連節バス
- 第4章 変わり種のバス
- 第5章 未来の連節バス

巻末資料 日本初の連節バス本営業運転の記録
～つくば科学万博 スーパーシャトルバス中央事業所にて～

交通新聞社新書 好評既刊

101 そうだったのか、都バス
懐かしの車両から最新システムまで
加藤佳一

都バスの全容について、都電からの引き継ぎなどの歴史、トラックの改造から始まった車両の変遷、バス停、時刻設定の謎、営業所や工場の業務といった知られざるバックヤードを紹介します。意外な路線の乗車ルボも掲載。さまざまな「なるほど」を詰め込んだ、都バスガイドです。

144 西鉄バスのチャレンジ戦略
九州がバス王国になったわけ
鈴木文彦

九州は、バスが発達した“バス王国”です。本書は、そのリーダーシップをとってきた西鉄バスの全貌を解説します。現在見られるさまざまなバス事業の施策は、実は西鉄バスが最初だった、という目からウロコのエピソードも満載です。

162 ニッポン秘境路線バスの旅
驚きの酷道ルート&ご当地ルールの不思議
風来堂
日本全国をすみずみまで網羅している路線バス。その中には、まさに「秘境」と呼べるような驚きのバス路線も多々あります。そんなマニアックだけどこか気になる、個性的な路線バスをテーマ別に全国から紹介します

交通新聞社新書 187
連節バス物語
978-4-330-03325-9